

ユリノキ
の町から

風の便り 84

2025 (令和7) /10/1.
八千代・ユリノキ台 辻 秀 幸

ゴキブリ (昆虫綱 ゴキブリ目)

新聞の4コマ漫画で、お母さんやおばあちゃんがギャッと叫び声をあげるようになっていくゴキブリ。人が現れるよりはるか前、恐竜よりも前、3億2000万年前の化石が今と変わらぬ姿で見ついているそうで、人間が絶滅した次に地球上で生き物の頂点に立つのではないかと、という人もいます。暖かい環境が好みだということなので、温暖化していく地球は彼ら彼女らの繁栄にはますます有利になるということになります。

連想するのが「ラ・クカラーチャ」というメキシコの陽気な歌。スペイン由来の民謡で、ゴキブリのことだとか女性兵士のことだとか言われます。メキシコ革命の時に革命軍で流行ったそうです。日本の軍歌とは大分イメージが違います。西部劇にも時々顔を出す革命家パンチョ・ビラの足元でもそろそろとゴキブリが走り回っていたことでしょう。

食品工場でこいつが出てきたら大騒ぎ。でも工場全体を密閉して薬漬けにでもしないと駆逐は難しいようです。厨房で「走り回ってるよ」と言うので、殺処分したのを提供してもらったことがあります。

日本には50種類ほどいますが、人の近くを好む種類はごく限られているそうです。私が記録したのは以下の2種類だけ。

クロゴキブリ (ゴキブリ科)



2022/10/29. 船橋・浜町1. マンション3F 室内 30℃
人の住まいが大好きな種類。テカテカ具合が嫌われる理由の一つでしょうか。羽を持っていますが、飛び姿は滅多に見せません。叩きのめしにかかるスリッパから逃れるのはもっぱら脚力利用です。その逃げ足の速さに近ごろ改めて驚いています。クロゴキブリは秒速50cmほどの脚力があるとのこと。人間に単純換算すると100mを3秒ほどで駆け抜ける速さということになります。資料によっては150cm/sとしているものもあります。この数字だと100mを1秒で瞬間移動。

成長段階の幾つかを採取することができましたので、大きさ(成長段階)の違うものを並べます。



← 4mm 2022/10/12.
八千代・ゆりのき台5. 室内
→ 5mm 2022/10/29.
船橋・浜町1. 室内
↓ 15mm 2023/9/17.
八千代・ゆりのき台5. 室内



幼い頃は白帯がチャームポイントで、この白帯が消えるとまもなく大人になります。



チャバネゴキブリ (チャバネゴキブリ科)



13mm 2016/11/26.
船橋・高瀬町 食品工場 食堂

これも人の近くを好んで住みかにします。こういうファッションで現れると、漫画の中のお母さんを驚かさないのでしょ。食品工場の食堂兼休憩所で見つけ、薬を吹きつけつつ追いまわして、つまり薬殺しての採取。

下写真のゴキブリは羽の様子が変だと長いこと気になっていました。羽化して間もなくで羽が固まりつつある状態らしいと最近知りました。

ヒトが現れた時にはすでにまわりを駆け回っていましたので、食用になるか試されました。ゴキブリ自体に毒は無いので、例えば唐揚げにするとシバエビのようなカンジだとか。私は勧められたら今は満腹なのでとご辞退申し上げます。なお、お家で捕まえたゴキブリを試食することはおやめになった方がよろしい。食材にするのは、カタツムリがそうであるように、清潔に養殖されたものです。中国では薬用に大量養殖しているとか。



14mm 2016/3/8.
船橋・高瀬町 食品工場 食堂